



LS研究委員会

研究分科会

研究分科会は「人材育成・人脈形成」「研究成果の実務への適用」「会員企業の課題・問題解決」を目的にGive & Takeの精神で1年間共同研究する場です。1年の成果は会員企業のIT活用にご利用いただく他、対外発表するなど積極的に活動しています。

2012年度の分科会メンバー募集を以下のテーマで行います。多数のお申し込みをお待ちしています。

参加者
募集中

2012年度活動

<4月から翌年3月まで1年間、原則月1回実施>

分野	No	テーマ名	分野	No	テーマ名
IT戦略／人材育成	1	ビッグデータによる経営貢献	技術／技法	13	システムメンテナンスにおける影響調査とリグレーションテスト手法の標準化
	2	情報システム部門のよりサービス化に向けた変革		14	テスト網羅性に基づく品質の向上
	3	現場業務の可視化で業務改革に取り組む情報システム部門の人材について	技術／技法 (実機検証有)	15	MS AzureのPaaS環境におけるアプリケーション開発技法
	4	運用業務から企画への反映		16	Hadoopをベースとしたビッグデータ時代のデータ活用技術／技法
	5	震災を教訓にしたICTインフラの継続性について		17	モバイル・タブレットを利用したクラウド時代の新たなセキュリティ対策
	6	グローバル化時代のIT 統制のあり方		18	スマートデバイスにおけるアプリケーション開発技法
	7	情報システム部門におけるビジネスアナリストのあり方		19	クラウド利用におけるセキュリティ管理のあり方
技術／技法	8	クラウド時代の情報システム企画の進め方	管理／運用	20	ハイブリッドクラウド環境におけるネットワーク運用のあり方
	9	OSSのビジネス活用方法		21	クラウド環境におけるバックアップ運用設計のあり方
	10	ハイブリッドクラウドインテグレーションの適用技術		22	クラウドにおける運用保守の変革
	11	ビッグデータの分析による情報活用手法		23	効率的な運用保守実現に向けた企画・開発工程と運用保守工程との連携のあり方
	12	映像コンテンツを利用した業務スタイルと映像処理技術を活用した新しい情報システムのあり方	新規	24	官民情報連携による新しい日本の創造

(上記のテーマ名は変更される可能性があります。正式なご案内をご覧ください。)

過去の研究成果は▶ <http://jp.fujitsu.com/family/lsken/activity/work-group/> 「過去の活動内容」をクリックしてください。

短期分科会

短期分科会は情報共有や意見交換に重点を置いた調査・検討活動を6カ月という短期間で行います。1年間の研究分科会と同様に富士通グループよりコーディネーターが参加し、活動をサポートします。なお今年度は下期の活動となりましたが、来年度は上期より活動予定です。(7月頃募集予定)

活動中

2011年度活動

<11月から翌年3月まで半年間、活動中>

No	テーマ名
1	東日本大震災を教訓とした BCP の検証と今後の対策
2	クライアント仮想化の導入と構築
3	事業戦略に貢献できる ICT の活用

過去の活動成果は▶ <http://jp.fujitsu.com/family/lsken/activity/s-work-group/> 「過去の活動内容」をクリックしてください。

情報化調査 LS研 IT白書

LS研会員企業における
IT活用の現状と今後

LS研IT白書

LS研IT白書は、LS研究委員会の会員企業におけるIT活用の現状と今後を把握することを目的に、調査した報告書です。

なお、LS研IT白書は、Give & Takeの精神に則り、**調査にご協力いただいた会員の方**みに配布しております。

2011年度版は、10月末に発行しました。ご回答いただきました160会員の皆様には、多大なご協力を賜り、誠に有り難うございました。

今回のIT白書では、会員企業の情報システム部門の今後の方向性を捉えるために、特に情報システム部門の役割変化に対する意識、及び求められる機能について調査いたしました。

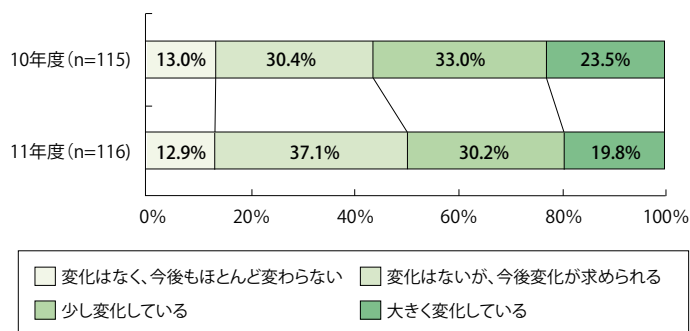
情報システム部門の役割変化

- ・情報システム部門の役割については、**変化している、あるいは変化が求められるという割合が、87.1%と大半を占める**。昨年と同様に**役割変化を求められている**（図表1）。
- ・また、情報システム部門の組織形態に関する課題を調査した結果、「**全社IT組織の戦略機能としての役割が不足している**」という回答が54.7%と最も多かったことから、**役割の変化が求められている**ことが伺える。

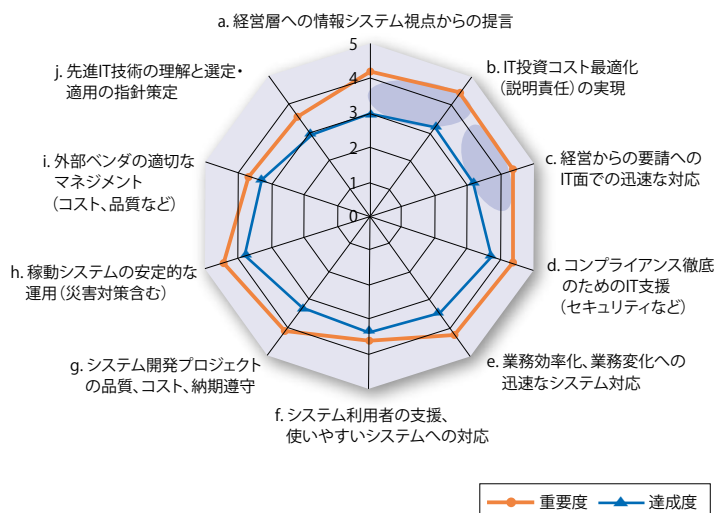
情報システム部門の役割と機能（重要度と達成度） （図表2）

- ・情報システム部門の役割として最も重要視されているのは、昨年度と同様「**b. IT投資コスト最適化（説明責任）の実現**」、次いで「**h. 稼動システムの安定的な運用（災害対策含む）**」、「**c. 経営からの要請へのIT面での迅速な対応**」、「**d. コンプライアンス徹底のためのIT支援**」である。
- ・また、重要度と達成度の差分の傾向も昨年度と同様で、「f. システム利用者の支援、使いやすいシステムへの対応」や「i. 外部ベンダの適切なマネジメント」など従来から情報システム部門に求められている役割・機能に対する達成度は高い。
- 一方で、**差分の大きいa～c（図中の丸部分）のうち、「a. 経営層への情報システム視点からの提言」や「b. IT投資コスト最適化（説明責任）の実現」などの新しい役割・機能についてはシステム部門として対応しきれないことが伺える。**

図表1 情報システム部門の直近3年間の役割変化に対する認識/昨年度との比較（有効回答：116会員）



図表2 情報システム部門の役割と機能に対する重要度と達成度の認識（有効回答：108会員）



マネジメンツサロン

〈部門長向けイベント 4月から翌年3月まで1年間、原則月1回実施〉

今年度はワールドカフェ※形式でも討議 (東京開催)

システム部門の部門長クラスの方が毎月1回アフターファイブに集まり、業種・業界の最新動向や企画・情報システム部門のあり方などについて自由に討議・意見交換する場です。毎年「別の会社の取組みが参考になる」、「自由に討議できるのでためになる」などの声をいただき、東京2グループ・関西1グループで活動しご好評いただいております。従来はプレゼンテーションによる会議形式でしたが、今年度よりフリーディスカッションやワールドカフェ形式を取り入れています。

東京グループは通常は富士通汐留本社のプレゼンルームにて実施しておりますが、年に2回ほどメンバーの施設にて実施しています。10月度は、メンバーの(株)富士通ラーニングメディアの青山代表取締役常務のご厚意により、東京の2グループ合同開催として、品川ラーニングセンターのCO☆PITにて実施させていただきました。今回は、「人材育成担当者」をテーマにワールドカフェ形式での討議と発表をし、大いに盛り上がりました。

※ワールドカフェ: カフェテリアのようなリラックスした雰囲気の中で、参加者が自由に意見を出し合うことにより、相互理解を深めていくという話し合いの手法。少人数に分かれ、途中でメンバーをシャッフルすることで、参加者全員と交流ができる。



CO☆PIT ～新しい学びの「場」～

実践的な知を獲得するために、新たなサービスを提供。知識・スキルを学ぶだけでなく、実務課題を学習テーマとして扱い、最善の意思決定、最善の行動ができる実行力を身につけるための「場」として開設。



問い合わせ先:
(株)富士通ラーニングメディア
お客様総合センター 0120-55-9019



マネジメンツサロン・マネージャーズサロン・リーダーズミーティングの2012年度メンバー募集は2月頃の予定です。

マネージャーズサロン

〈課長クラス向けイベント 4月から翌年3月まで1年間、原則月1回実施〉

課長クラスが白熱した本音の議論を展開

システム部門の課長クラスの方々が、基本的に毎月1回アフターファイブに集まり、新たなITマネジメントの視点の取得、他社動向や最新IT技術の情報収集などを目的に、自由に討議・意見交換を行う会です。

今年度は、初回から東日本大震災を振り返り、震災の教訓をBCPにどう活かすのかなど、実体験に基づいた危機管理や情報システム部門のあり方を議論する光景が印象的でした。その他、参加メンバーの方々が日頃抱えている共通の悩みや課題として「部下育成」「スキル標準化」などが主なテーマとなっています。

通常は会議室での実施ですが、10月度は横浜ゴム(株)様のご厚意により尾道工場を見学、また11月度は東京海上日動システムズ(株)様を視察、フューチャーセンターにおける様々な組織活性化などに対する取り組みをご紹介いただきました。他社の企業理念に触れる貴重な機会であると同時に、参加メンバー同士の親睦がより一層深まるイベントでもあります。

このように回を重ねるごとに参加メンバー同士の絆は強くなり、より一層白熱した本音の議論が展開されるのもマネージャーズサロンの大きな魅力となっています。



▲横浜ゴム(株) 尾道工場見学

建設車両用タイヤ、産業車両用タイヤの生産工場である尾道工場を見学。

▶東京海上日動システムズ(株) フューチャーセンター視察

ワークスタイル改革委員会(通称: ワクワク)、Happy Work & Life Style Project(通称: ハピプロ)などの取り組みのご紹介をいただいた。



リーダーズミーティング

〈主任クラス向けイベント 4月から翌年3月まで1年間、原則月1回実施〉

職場の共通の悩みや課題をフリーディスカッションで意見交換

運営のスタイル・目的はマネージャーズサロンと同様ですが、こちらは、システム部門の主任クラスの方を対象とした会となっています。

開始から3年目を迎えた今年度も「組織力・チーム力向上」「モチベーション向上」や「コミュニケーションの活性化」など職場における身近でかつ共通の悩みや課題をテーマとし、お互いに飾らない言葉で自由闊達な討議・意見交換を行っているのがこの会の特徴です。

参加メンバーの方からは「LS研分科会の研究活動と異なり、成果物を求められないリーダーズミーティングは、常に自分が議論・検討したいことを突き通せる点がよく特徴だと思う。」という意見をお寄せいただきました。このように参加メンバーがそれぞれに会の存在意義を探り、そして解のないテーマについて討議を重ね、その中



から課題解決のためのヒントを持ち帰ってもらうという常に新しい気づきや刺激が満載のフリーディスカッション形式の会合です。

■会員のコメント

- 他社メンバーとの交流のおかげで井の中の蛙にならずにすんでいる。自分だけでなく自社がどういった環境におかれていて、今後どうすればよいのかを身近に感じ取ることができる。
- 日常業務の中では問題・課題が発生した場合、いち早く解決する為に安易な(拙速な)解決策を検討しがちだったが、「課題分析の重要性を再認識した」ことはとてもプラスになった。リーダーズミーティングの中で自身の取り組みに対するメンバーの意見をもらった結果、分析が足りない事に気付いた。「別の立場」「長期的な視点」「方向性の再確認」など、改めて課題分析を意識し日常業務に活かしたいと思う。
- 毎回のディスカッションでは、その日のテーマはもちろん、付随する様々な事柄について参加者の皆さんから様々な意見が出され、とても良い刺激を受けている。他社で同じような立場で頑張っている方々の素の考えに触れられるのはとても貴重で、毎回楽しみに参加している。相互啓発のなかから得られた知見や人とのつながりを基に、今後新たな取り組みやビジネスにつなげていくことができたらと思っている。

ジョイントフォーラム

〈経営者・部門長向けイベント 年1回実施〉

企業のイノベーションに向けた情報の戦略的活用

～富士通の新しいサービス「コンバージェンスサービス※」～

ジョイントフォーラムは会員と富士通グループが会員の抱いている夢の実現に向けて討議する場です。次世代ITの方向性に関わるキーワードテクノロジーやビジネス戦略についてLS研会員の部門長の方々と富士通グループのSEおよび製品・サービス開発部門の責任者が直接意見を交換します。

クローズドセッションで富士通グループの未発表情報も含めた製品やビジネスの方向性を情報提供します。

2011年度は10月26日に「企業のイノベーションに向けた情報の戦略的活用 ～富士通の新しいサービス『コンバージェンスサービス』～」と題して実施しました。

富士通から新しいサービスである「コンバージェンスサービス」とそのプラットフォームである「コンバージェンスサービス・プラットフォーム(CSPF) (仮称)」の概要についてご紹介しました。

その後の意見交換では、「企業内外を含めた情報活用の現状と課題」、「単なる情報連携ではなく『垣根を越えた』戦略的情報活用」、「それらを実現する上での技術的な課題」について議論されました。

■会員のコメント

- 富士通さんからの意欲的なテーマと内容を提案いただき、大変興味深いフォーラムだった。
- BigDataに対する新たなソリューションに対する理解を深められた。
- 非常に可能性のある話だと思い、興味をひかれた。
- 身近な事例もあり、とても分かりやすかった。
- 他業界の方を含め、事例、法制度等、幅広い知見を得ることができた。
- 事例のそれぞれについて、コンバージェンスサービス提供者から見て、どのように展開していけるのかを説明していただくとサービスの活用イメージがより鮮明になったと思う。

※富士通のコンバージェンスサービスは、大量のセンシングデータを収集、蓄積、分析し、知恵を組み合わせ、人々をナビゲーションするサイクルを実現し、企業の課題から地球規模の課題までを解決、豊かな社会を実現していくサービス。
コンバージェンス (Convergence) : 集中・合致・融合。